



記入日	西暦 2020 年 1 月 14 日 (2019 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	岡崎市立常磐東小学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	1 1
タイトル	もし、「大災害」にあったらあなたはどのようにしますか？
実践担当者のお名前	近藤 嗣郎

実践にかかった金額	ほぼ 2 0000 円
実践の準備にかかった時間	数ヶ月
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 8 月 1 日～西暦 2019 年 8 月 31 日
実践の所要時間	アンケートに答える時間は 10 分程度
実践の運営側で動いた人の人数	約 50 人
防災教育の対象者の属性	地域住民
防災教育の対象者の人数	約 330 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛知県岡崎市常磐東学区
実践を行った具体的な場所	各家庭
★実践に必要なだった特定の能力	特になし

達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	① 防災に関するアンケートを通して、本学区で最も心配な「土砂災害に対する避難」について、地域の方々に真剣に考えていただくきかひとする。 ・土砂災害に遭遇した時、どのタイミングで避難するのか。 ・体が不自由な人がいて、補助が必要かどうか。 ・避難場所はどこでどのような手段で避難するのか。 等を考えることで、土砂災害への対応を考えていただく機会とした。 ② 児童には、アンケート作りにおいて参加することで、地域の人々の防災に関わる意識や地域の一員としての自覚を育てたい。 ③ 「防災アンケート」の結果を発表することを通して、思考力・判断力・表現力を培いたい。 ④ 「防災アンケート」を通して、地域の人々の土砂災害に関するお考えを知ることや希望などを知ることができる。(知識)
--	---



どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
該当しないものを削除し該当するものを1つ残す	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	かなり
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	○防災アンケートについては防災会議（教師・地域・大学・NPO 法人・保護者等からなるメンバー15 名前後）で作成。 ◎計画の日程と内容について ※結果は別紙資料参照 ○防災会議① 5 月 22 日 13 名参加 「アンケートの趣旨を協議」 ・防災アンケートを作成することを協議で決定する。 ・主な内容は、本年度のテーマを「避難」として、「土砂災害」に遭遇した時に、具体的にどのような行動をとるのか調査する。 ○防災会議② 7 月 10 日 15 名参加 「アンケート内容の審議」 ・分担：①最初のたたき台を「大学」が提出した。②防災会議で内容を協議し、授業で児童にも意見を求め、学校で修正し、印刷。④地域の総代さんを中心に全戸に配付と回収をする。④大学が学校から受け取り、集計する。⑤学校で児童わかるようにグラフ化する。 ○防災会議③ 9 月 20 日 16 名参加 「アンケート結果の協議」 学校が地域に結果を配信する。今後、児童が結果をわかりやすく校内防災研究発表会で全校児童に発表する。  アンケートの結果や活用について協議する防災会議	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	○多くの人はこれまで大丈夫だったので警戒レベル4 でも避難をしない人が予想以上に多かった。 ・244 世帯／336 世帯（73%）の回収率であった。 ・107 人（43%）が、自宅が土砂災害になっても自宅にいるとした。	



	理由は避難所が遠いので危険、移動する経路が危険、避難するのに困難な人がいるので危険などであった。 ・22人(9%)が近くに家族がいないので手助けが必要と答えた。 ○非常食などを備えている家は46%(111人)と十分ではなかった。	
どのくらい身につきましたか？ <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u>	知識・技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性	かなり かなり かなり
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	○常磐東小学校は土砂災害特別警戒区域に指定されており、危険を回避する避難場所ではあるが、避難所として認定されていない。 ○地域の方が安心して避難できる場所が学区にはないことが困った。 ○今後どのような災害があるかもしれない。想定外のことが起こることもある。各家庭が早めに避難できる場所をあらかじめ決めておくために、「土砂災害マイタイムライン」が必要となった。 その結果、本校独自で「土砂災害マイタイムライン」を作成した。	



アンケートについて話し合う保護者

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について 1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください	
関係者の名前・団体名	愛知工業大学&地域防災研究センター
関係者の説明	7年前から本校のためにいろいろとアドバイスをいただいている
関係者の連絡先	0565-48-8121
関係者の名前・団体名	特定非営利活動法人ドウチュウブ（DoChubu） 小穴久仁 落合鋭充
関係者の説明	愛知工業大学地域防災研究センター内にあって大学と連携している
関係者の連絡先	0565-48-8818

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ
--



1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	常磐東小学校の全児童・常磐東小学区の地域の皆さん
伝えたい内容	事前に家庭で避難する場所、タイミング、経路等を決めておくことが絶対に大切です。 昔は「災害は忘れた頃にやってくる」と言われていますが、今では「災害は予想以上の大きな被害をもたらす常によってくる。」ので、 早め早めの準備や対応があなたの命を救います。
伝えたい相手	防災会議の皆さん
伝えたい内容	大学・地域・NPO 法人・保護者・行政・学区防災指導員等の皆さんが、子供や地域のために、真剣に協議してくださり、それぞれの立場での素晴らしいアイデアや学校だけではどうにもならないアンケートの配付や回収等感謝します。 おかげで子供たちもアンケート結果から次の課題(非常食・避難するときの準備・「土砂災害マイタイムライン」の必要性)を見付けることができました。



フォームへのご意見 (1 団体あたり 1 回だけ記入する内容です)

★このフォームは書きやすかったですか？ わかりにくいところ, 改善すべき点などあれば教えてください	○たくさんのプランを提出する場合、どこが最初かわからなくなる。 おそらく読み手はもっとわかりにくいと思う。最初の表(記入日やタイトル等)は枠が黄色(水色・桜色)などで塗りつぶしてあると、書く側も見る側もとてもわかりやすい。 ○フォームが決まっていて、その意図がわかりにくいものや表現するのが難しい内容もあり、もうすこし自由に表現したほうがよい。 ○どのくらい身についたかなどについての評価は、児童が対象でない場合は、どうしたらよいのか？ また、客観的な評価というよりも主観的な評価となってしまう。 ○4 月の段階(遅くても 10 月の中間報告の日)で、最終の提出するものについての説明がほしかった。
--	---